

平成31年度

2年次

地域共創学部観光学科
ゼミナールⅠ紹介誌

九州産業大学
地域共創学部観光学科

ゼミナールの履修について

I. ゼミナールとは

- ゼミナールとは、指導教員の専門分野を少人数で学習する授業です。
- 具体的な学習内容は、プレゼンテーション、特定のテーマについての研究、専門書の輪読、グループ討論などです。ゼミナールによって学習内容は異なりますので、詳細はゼミナール紹介誌を読んでください。

II. 2年次以降のゼミナール

- 2年次：ゼミナールⅠ（通年4単位）
- 3年次：ゼミナールⅡ（通年4単位）
- 4年次：卒業論文ゼミナール（通年8単位）

III. ゼミナールの履修に関する注意事項

- ゼミナールは、全員履修科目です。
- 2年次のゼミナールⅠ・3年次のゼミナールⅡは、それぞれ選考があります。
- 学生は、期限までに必ずエントリーシートを提出してください。
- ゼミナールは、自分の所属コースの教員が開講するゼミナールのみ、応募・所属できます。
- 選考の結果、必ず希望するゼミナールに所属できるとは限りません。
- 4年次の卒業論文ゼミナールは、ゼミナールⅡの担当教員が受け持つことになっています。

ゼミナール募集説明会について

I. ゼミナール I 募集全体説明会 ※必ず出席すること

- 開催日時：平成 31 年 3 月 26 日（火）09：30～（2 年次教務ガイダンスの中で実施）
- 開催場所：1 号館 2 階 N202 教室
- 選考についてゼミナール担当教員から個別に詳細な指示（「選考詳細」）がある場合は、3 月 26 日以降、各教員の研究室の扉に掲示します。自分が希望するゼミナール担当教員の掲示を必ず確認して、その指示に従ってください。
- ゼミナール選考前に必要な 2 年次所属コースのエントリーシートは、3 月 26 日の教務ガイダンス時に回収しますので準備しておいてください。

ゼミナール選考の流れ

【 選 考 手 順 】

■3 月 27 日（水）：2 年次所属コース発表

- 地域共創学部掲示板又は K's Life から通知にて、自分が所属するコースを確認してください。

■3 月 28 日（木）～29 日（金）：エントリーシート提出期間

- ① 1 月 17 日に配布したエントリーシートを活用し作成して下さい。
 - 2 年次所属コースの担当教員の中から、第 1 志望～第 3 志望までゼミ名を記載して下さい。
 - エントリーシートが手元にない場合は、K's Life・教務課ホームページからダウンロードも可能です。
- ② 3 月 27 日に学科教員の研究室の扉に「面接時間予約表」を掲示します。第 1 志望のゼミナールのみ、予約表の面接希望の日時へ学籍番号を記入してください。
 - 第 2・第 3 志望のゼミナールの面接予約は必要ありませんので注意してください。
- ③ 作成したエントリーシートは、3 月 28 日および 29 日の間に以下の場所に設置してあるエントリーシート投函箱へ提出して下さい。

1 号館 8 階 地域共創学部事務室前 受付時間 09:00～16:00

■4 月 1 日（月）～4 日（木）：第 1 志望ゼミナールの面接日

- 面接は上記の期間に教員の指示する方法で行われます。
- 面接は第 1 志望のゼミナールのみ行います。第 2・第 3 志望のゼミナールは書類選考します。
- 選考の結果、第 3 志望までのゼミナールに所属できない場合があります。その際は、所属コース内で志望以外のゼミナール所属となります。

【 結 果 発 表 】

■4 月 6 日（土）：地域共創学部掲示板にて所属ゼミナールを発表

- 同時に教務課から履修登録を行う。

平成 31 年度 地域共創学部観光学科ゼミナール I（新2年生）募集一覧表

（各コース 50 音順）

■グローバル・ツーリズムコース

氏名	選考方法	選考場所	その他連絡事項(持参物)等
石川 泰成	面接・成績・エントリーシート	S806 研究室	成績原簿のコピーを当日持参
片瀬 葉香	面接・成績・エントリーシート	N817 研究室	成績原簿のコピーを当日持参
加藤 佳奈	面接・成績・エントリーシート	S807 研究室	成績原簿の「コピー」を面接当日に持参してください。
千 相哲	面接(50%)・エントリーシート(30%)・成績(20%)	S810 研究室	特になし
長谷川 由起子	面接・成績・エントリーシート	S806 研究室	特になし

■観光・地域デザインコース

氏名	選考方法	選考場所	その他連絡事項(持参物)等
浦 達雄	面接・成績・エントリーシート	S805 研究室	成績原簿のコピーを当日持参
高橋 誠	面接、成績、エントリーシート	S803 研究室	成績原簿のコピーを当日持参
田代 雅彦	出席率・成績・エントリーシート・面接	S813 研究室	特になし
平山 昇	面接・エントリーシート・事前課題(紹介誌参照)	N812 研究室	事前課題の動画(紹介誌参照)を当日提示すること。

■ホスピタリティ・マネジメントコース

氏名	選考方法	選考場所	その他連絡事項(持参物)等
乾 弘幸	面接・エントリーシート・成績・単位の状況などを総合的に判断	N819 研究室	特になし
大方 優子	面接・成績・エントリーシート	S801 研究室	成績原簿のコピーを当日持参
松笠 裕之	面接・成績・エントリーシート	N825 研究室	成績原簿のコピーを当日持参
室岡 祐司	面接・成績・エントリーシート	S802 研究室	成績原簿のコピーを当日持参
森下 俊一郎	面接・成績・エントリーシート	N802 研究室	特になし

グローバル・ツーリズムコース

教育方針	グローバル社会で求められる <u>語学力・国際経験を重視</u> しながら、グローバルな視点で観光を捉え、学びを深め、 <u>九州・アジアを中心とする国際観光をリードする人材教育</u> を行う。
修得する知識・技能	特に社会からニーズの高い訪日外国人誘致においては、必要な語学力（英語・中国語・韓国語の 3 か国語に対応）、アジア地区の観光動向、観光マーケティングに関する知識と技能を修得する。 卒業時には、英検準 1 級（TOEIC650 点以上）または中国語検定試験 2 級（中国語検定 HSK・筆記 4 級）または「ハングル」能力検定試験 3 級（韓国語能力試験 3 級）の水準を達成するよう努めなければならない。
2 年次の 主なコース科目	国外観光研修 A 国際観光基礎論 アジア観光基礎論 コンベンション基礎論 マーケティング基礎論 世界遺産基礎論 観光英語 I 観光英語 II 観光中国語 I 観光中国語 II 観光韓国語 I 観光韓国語 II

石川ゼミナールⅠ	
演習テーマ 三国志関連の観光地の研究	
担当教員： 石川泰成	担当科目： 観光中国語Ⅲ、プラティカルチャイニーズ
演習概要，演習計画 中国国内は空前の観光ブームです。そのため中国各地では、観光スポットの整備が急ピッチで進んでいます。そうしたなか日本人の中国観光はそれほど伸びていません。そこで、私たちは、日本人に漫画、ゲーム、ドラマでもなじみの深い『三国志』、『三国志演義』に縁とゆかりがある観光地を調査・研究し、日本人の中国観光客を掘り起こし、「三国志の旅」、「三国志歴史の旅」という旅企画を提案する。 1 諸葛孔明に関する観光名所（武侯祠、武侯墓など） 2 魏の曹操に関する観光名所（曹丞相府、曹操墓など） 3 蜀の劉備に関する観光名所（蜀の栈道、漢昭烈廟など） を中心に、縁とゆかりの土地について、 1 関係する記念館、博物館 2 遺跡・廟・墳墓 3 ご当地の美食 を、調査・研究してゆきます。 可能であれば、ゼミ旅行で現地にゆき実際の様子を見てきたいと思います。そのため、最安値の交通手段の調査や日程なども調べることになります。	
教科書・参考文献 教科書はありません。参考書は『三国志男』（さくら剛）を用います。	
履修しておくことが望ましい科目 中国語Ⅰ・Ⅱ、中国語会話Ⅰ・Ⅱ、観光中国語Ⅰ	
受講希望者への要望 グループによる発表、個人による発表があります。欠席しないでおのこのの分担責任を果たすことができる方のみ応募して下さい。	

片瀬ゼミナールⅠ	
演習テーマ 国際観光の基礎（1）	
担当教員： 片瀬 葉香	担当科目： 国際観光基礎論、世界遺産基礎論、国外観光研修 A
演習概要，演習計画 本ゼミナールは、国境を越える人の移動に着目して、観光の現状を考察するために必要な知識を習得しながら、受講生各自が訪れたいと思う国や地域の特徴について理解を深めることを目的とします。 人類は環境にどのように関わればいいのかという観点から、世界における自然や文化の多様性を概観し、観光の成立条件について話し合います。 今、地球上をどのくらいの人移動しているのだろうか。古くから訪問者を受け入れてきた場所には、どのような共通点があるのか。例えば、訪れたいと思う国や地域では、自然保護や環境保全についてどのような取り組みが行われているのだろうか。 前期には、例えば、博多・天神のまち歩きへの参加や、「世界遺産」認定地域への訪問を通じて、「観光」について考えるきっかけとなるような出来事もしくは事象を見つけることから始めます。 後期には、関心のあるテーマに沿って、旅程を作成し、ゼミ旅行を計画・実施する予定です。 また、通常の授業に加えて、各種ゼミ会の企画・運営などを通じて、取り組みたいと思う研究テーマを探してほしいと思っています。	
教科書・参考文献 教科書・参考文献は指定しません。	
履修しておくことが望ましい科目 必要に応じて指示します。	
受講希望者への要望 今、世界で起きていることや関心のあることについて、実際に現地を訪れて確かめたいという意欲のある人を歓迎します。	

加藤ゼミナールⅠ	
演習テーマ ビジネスの裏側にある仕組みを調査しよう	
担当教員： 加藤佳奈	担当科目： サービス・マーケティング論，マーケティング入門，マーケティング基礎論（経営学系科目）
演習概要，演習計画 国内外の旅行者でにぎわう天神や博多の街が，どのような人々の営（いとな）みで成り立っているか，考えたことはありますか？ このように「当たり前になっているけれど，実はよく知らないこと」はたくさんあります。あたり前（常識）を，「ちょっと待てよ」と疑ってみると，問い（不思議・謎）が見えてきます。ゼミナールでは，皆さんが「問い」を見つけて，その「問い」に対する「答え」を導くために，「考える」「調べる」「伝える」というプロセスを繰り返します。 本ゼミナールの中心テーマは「ある産業・企業・商品の裏にあるビジネスの仕組みを明らかにすること」です。例えば「人気のある観光商品や観光地・商店街などが，どのような仕組みで生産・運営されているのか」といった問いに取り組みます。さらに，「顧客にとっての価値とはなにか」「どのように価値を生み出す仕組みをつくっているのか」というように，深めていきます。調査では，学外でフィールドワークをするとともに，物事を見る視点・理屈を養うために本・論文を読みます。 過去の調査テーマ（経営学部生）：学部が違ってもビジネスの仕組みを調査するのは同じです。 ・なぜ，ガラガラの画廊（ギャラリー）はつぶれないのか？～アートビジネスの舞台裏～ ・不思議と人気の新サービス「おっさんレンタル」のビジネスモデルとは？ ・知られざる地域の特産品～福岡県八女市のキウイ産業の強さの秘訣～	
教科書・参考文献 調査するテーマに合わせて，物事（ものごと）の見方や理屈を学ぶために，テキストを決めます。チームの全員で読んで議論することになった本は，必ず全員が手に入れてもらいます。	
履修しておくことが望ましい科目 マーケティング入門，コース入門ゼミナール	
受講希望者への要望 一緒に学びたい学生像：。 ・ フットワークが軽やかである（すぐに調べて行動する）。 ・ 他者の目線に立ち，チームで動くことができる（その意欲がある）。 ・ 人に関心を持てる（学内外の人，先輩，後輩 など）。 ・ 決めたことに粘り強く取り組める。 ・ 自分で考えて選択できる。 ・ ゼミナールの活動にエネルギーや時間を惜しまず費やせる（時間外も含める）。 注意事項 ・ 現地調査は授業時間外に行います。 ・ ゼミナール活動はチームで行います。個人の都合よりチームの計画を優先する姿勢が必要です。 ・ 調査によって，交通費や書籍費などの費用（学習のための投資）がかかります。 ・ 毎回のゼミナールにむけて資料収集やレジュメなどの準備が必要です。	

千ゼミナールⅠ	
演習テーマ アジアの国際観光と九州の観光振興	
担当教員： 千 相哲	担当科目： アジア観光論、観光インターンシップ、観光地域事業プロジェクト、観光振興プロジェクト、九州観光リーダー論、アジア観光振興プロジェクト、実践力育成演習（ファーマーズマーケット実施）
演習概要、演習計画 本ゼミでは、国際観光、特にアジア観光に関心のある学生を対象に「アジアの国際観光と九州の観光振興」を共通のテーマにグループまたは個人研究を行います。前期の授業では、共通テーマの調査研究に必要な参考資料を輪読しながら、基礎知識を習得します。後期の授業では、興味関心のある独自の研究テーマを設定し、研究に取り組みます。ゼミ活動の一環として、資料の検索、新聞や文献の閲覧などを行います。夏季または冬季の休暇期間中は2～3日間の国内外での調査合宿を行うことがあります。また3、4年次生による研究活動の紹介を行います。 ゼミ活動の一環として、資料の検索、新聞や文献の閲覧などの他に、実践的な学びに重点をおき、全員がフィールド調査を行います。その結果をまとめ、学外の論文発表大会または企画コンペなどで発表し、外部の評価も取り入れ、調べる、議論する、まとめる、伝える力を高め、3年次の研究、4年次の卒業論文の作成に必要な基礎能力を養います。	
教科書・参考文献 『九州観光学』、『九州地域学』（平成31年9月発行予定）	
履修しておくことが望ましい科目 九州観光リーダー論、アジア観光基礎論、国際観光基礎論、語学科目	
受講希望者への要望 「勉強するから、何をしたいか分かる。勉強しないから、何をしたいかがわからない」ということを意識しながら、学び続ける姿勢を持ってほしいと思います。また、ゼミを通して学問的にも社会的にも必要な素養や知識を身につけてほしいと思います。 ゼミ活動に自主的かつ積極的に参加し、他のゼミ生と協調しながら楽しく勉強できる。また、苦手なことにも取り組み、真剣に学び、自分磨きに励みたいと思っている学生を歓迎します。	

長谷川ゼミナール I

演習テーマ

観光現場の韓国語を把握しよう

担当教員： 長谷川由起子

担当科目： 観光韓国語 I・II、海外観光研修 A

演習概要、演習計画

本ゼミは、韓国と関わる観光業界で活躍できる能力育成のため、①韓国の観光資源とその歴史的・文化的背景について、受講生自身が調べたり説明したりできるようになること、②福岡・九州の観光資源が韓国人観光客の目にはどう映っており、どのように活用・発展させるか、どのような課題があるのかなどを受講生自身で考えられるようになること、同時に、③これらの活動を通じて観光業界で使われる韓国語に触れ、それを自分で使えるようになることを目指す。

また、観光業界は国内外のさまざまな政治的、経済的、社会的要因の影響を受けるので、個人的関心事などの狭い範囲だけでなくさまざまな社会事象に関心を払う習慣をつけるため、毎回「最近のニュース」報告の時間を設ける。さらに、長期インターンシップで接した韓国人インバウンド客への対応事例について、随時クラスで報告・共有する。

<前期>

1. 韓国の観光資源を地域ごとに調べる。
2. 観光資源の歴史的・文化的背景を調べる。
3. 日本人観光客にとって韓国観光の魅力とは何かを考える。
4. 日本から韓国へのアウトバウンド活性化の方策を提案する。

<後期>

1. 身の回りの観光資源を調べ、韓国語でどう表現するか考える。
2. 韓国人インバウンド客に、それらの観光資源がどう見えるのか調べる。
3. 韓国人インバウンド客の立場から見た可能性と課題を考える。
4. 韓国人インバウンド発展と課題解決の方策を提案する。

教科書・参考文献

履修しておくことが望ましい科目

韓国語 I・II・III、韓国語会話 I・II・III、観光韓国語 I・II、国外観光研修 A

受講希望者への要望

本ゼミの受講生は、できるだけ海外観光研修Aの韓国コースに参加してください。

観光業界で使える韓国語習得のため、ゼミ活動はもちろん、日常的な韓国語学習怠らないこと。韓国語の基本的な読み書きを前提としてゼミ活動を進めるので、韓国語の学習経験のない人は参加できません。

観光・地域デザインコース

教育方針	観光が地域資源の活用を通じて交流人口を増やし、 <u>地域の活性化に寄与する機能に着目し、観光の理論や思想を学ぶとともに観光と文化を結びつけ、観光まちづくりの実践教育を行う。</u>
修得する知識・技能	温泉や鉄道等九州の特徴的な観光資源や広域連携・まちあるき等、全国に先駆けた九州の観光政策を手掛かりに、幅広い教養を身に着けると共に地域社会の問題点・課題を認識する力を養う。 また、フィールドワークによる実践型教育を通じて、地域の観光振興を調査・計画・実践・評価する一連の観光地マネジメントに関する知識と技能を修得する。
2年次の 主なコース科目	国内観光研修A 社会学 観光まちデザイン基礎論 温泉地域基礎論 九州観光基礎論（九州観光学） 観光交通基礎論 観光史 地誌学 鉄道産業演習 人文地理学 自然地理学

浦ゼミナール I	
演習テーマ 観光地域の地勢・歴史の調査研究	
担当教員： 浦 達雄	担当科目： 温泉地域基礎論、温泉地域デザイン論など
演習概要，演習計画 概要：ゼミナール I では、1 年のゼミナール・観光地理学系の科目で学んだ内容をゼミ形式で実施し、3 年次からのより専門的な学びに入るためのスキルの向上を目的とする。受講生が特定の地域(出身地または現在の居住地、興味ある地域)を選定し、特定の地域の地勢や歴史などを調べることによって、発表・整理・討論などを行う。前期は主に地勢、後期は主に歴史を主体とする。最後のまとめとして、地域のまちあるきコースを提案する。 計画： 1. 前学期のオリエンテーション ゼミの方針、学修の仕方などを確認し、プレゼンテーション(発表)の仕方、レジメ・ゼミ論の書き方などを理解する。 2～3. 地域の地勢・歴史について 事例を用いて、具体的な地域の地勢と歴史について学修し、理解を深める。 4～5. 調査地域の確定・レジメの提出 各自が調査地域を確定し、地勢について調査研究する。レジメの提出。 6～9. プレゼンテーション(1)(2)(3)(4) 各自が特定の地域の地勢について発表を行う。出席番号順で毎回 3 人程度。 10. 地勢の総括と地域の歴史 地勢の総括を行い、特定の地域の歴史について調査研究する。レジメの提出。 11～14. プレゼンテーション(5)(6)(7)(8) 各自が特定の地域の歴史について発表を行う。出席番号順で毎回 3 人程度。 15. 前学期のまとめ 前学期の総括を行う。夏休みの課題(地域の年表作成)の連絡等。 16. 後学期のオリエンテーション 夏休みの課題提出。発表のローテーションの確定。 17～20. プレゼンテーション(9)(10)(11)(12) 各自が特定の地域の年表について発表を行う。出席番号順で毎回 3 人程度。 21. 中間的なまとめ 後学期の中間的なまとめと今後の展開について。地域の観光資源などの調査研究など。 22～23. 観光資源の調査研究 各自が地勢や歴史で取り上げた観光資源を再度整理する。 24～27. プレゼンテーション(13)(14)(15)(16) 各自が地域の観光資源について発表を行う。出席番号順で毎回 3 人程度。 28～29. ゼミ論のまとめ(1)(2) 各自が研究成果を簡単なゼミ論として整理する。地域のまちあるきコースを提案する。 30. 後学期のまとめ ゼミナール I のまとめと総括を行う。ゼミ論の提出。	
教科書・参考文献 特になし。その都度、紹介する。	
履修しておくことが望ましい科目 観光関連科目。	
受講希望者への要望 ゼミは大学の授業で最も大切だと思います。主に発表形式の授業を行います。無断欠席はしないこと。	

高橋ゼミナールⅠ	
演習テーマ 観光地と交通機関の関係を双方の視点で考える	
担当教員： 高橋 誠	担当科目：九州観光学、観光交通論、演習プロジェクト
演習概要，演習計画 ●本ゼミナールでは、地域から「集客マシーン」である交通事業者を求める施策を考え、施策実現の為に何が必要かを考えます。 ●一方で、交通事業者が運輸事業を展開する場合に、地域に求める協力や支援について考え、地域と交通事業者が一体となった地域活性化のモデルを企画します。 ●地域の要望は、往々にして「自己中心的」な要求となりがちですが、交通事業者の営業戦略を理解した上での適切な地域活性化プランを企画設定すれば、実現の可能性が高くなることを実践的に考えます。 ●「疑問を抱く→調べる→仮説を立てる→検証する」のサイクルを繰り返して、自分の考えを実証する実践的な考え方が身に付くようになって欲しいと思います。 ●年に数回は企業や自治体の担当者を招き（又は訪ねて）、直接疑問をぶつける機会を設ける予定ですが、ゼミ参加者の習熟度によっては予定変更もあります。	
教科書・参考文献 ・特にありませんが、毎月1冊以上の本(テーマは自由)を読むことをノルマとします。	
履修しておくことが望ましい科目 ・観光関連科目、交通関連科目	
受講希望者への要望 ・発表や学外の担当者との対話が多くなります。 きちんとした「会話」や「挨拶」ができることが条件です。	

田代ゼミナール I	
演習テーマ 地域が求める観光人材となるための基礎的な知識や能力を身につける	
担当教員： 田代 雅彦	担当科目： 地域研究入門、地域産業基礎論、国内観光研修 A、観光地理入門、観光地理学、観光地域共創プロジェクト
● 演習概要、演習計画 - 本ゼミナールでは、地域・観光デザインコースとして、地域が求める観光人材となるための基礎的な知識や能力を身につけることを目的とします。 1年間のゼミ活動を通じて、文献（書籍やレポート、行政文書等）を読み、その内容を整理・要約し、正しく理解して、他人に説明できるようになること。そして、観光地域を事前に調査したうえで、実際に足で歩いて事実を確認したり、新たな情報を収集したりできるようになることが目標です。 - 前期は、九州観光に関する文献（レポート）の読解・発表と、デービッド・アトキンソン著『新・観光立国論』の輪読を行います。基本的に数人で構成されるグループに分かれ、各グループで作業、発表を行います。 - 後期は、政府が進めている地域における観光政策の内容調査と発表、そして観光に関わる産業の概要調査と発表です。後期も数人で構成されるグループに分かれ、各グループで作業、発表を行います。 - また、地域への理解を深めるべく、年度内に数回、土曜日に学外での現地調査「土曜巡検」を実施します（1度の巡検が通常のゼミ2コマ分に相当）。実施時期はゼミ生のインターンシップの状況を見て決定します。巡検先は、1回は福岡市、もう1回は北九州市を想定していますが、現時点では未定です。また、土曜巡検の交通費や各種入場料等は、ゼミ生各自での負担となります。 - なお、ゼミの内容は、多少変更する場合があります。	
教科書・参考文献 デービッド・アトキンソン（2015）『新・観光立国論』東洋経済新報社（1,500円＋税）	
履修しておくことが望ましい科目 九州観光基礎論、地域研究入門、観光地理入門、観光交通基礎論	
受講希望者への要望 下記のような学生を歓迎します。 - 学習意欲や好奇心が旺盛で、休まずゼミに出席してくれる人 - 他人の邪魔にならず、ゼミ活動に協力的で、与えられた課題に真摯に取り組む人 - 自分の力で文章を書き、自分の言葉で発表する人 - 土曜巡検に積極的に参加してくれる人	

平山ゼミナールⅠ

演習テーマ

「島旅」にチャレンジしよう！

担当教員： 平山 昇

担当科目： 観光史、TOEIC スコアアップ講座など

演習概要、演習計画

皆さんは「島」に行ったことはありますか？

島には都会のような便利さはありません。また、進学・就職で若者が島を出て行って高齢化が進むなど、日本全体が直面しつつある問題が多く島の深刻化しています（住民がいない無人島になってしまうことも！）。

一方で、自然や人情とのふれあい、新鮮な魚や野菜など、島独特の魅力もたくさんあります！

「島」をフィールドにすることで、「地域」が抱える問題について、そして、「島旅」の魅力と可能性について、一緒に考えてみませんか？

★土曜・休日を利用した「島旅フィールドワーク」を数回実施します。交通費など多少の費用負担があります（ただし、最初の2回ほどは「島旅入門編」として比較的近いところにある島に日帰り～1泊程度で行く予定ですので、費用はさほど高額にはなりません）。費用や日程を検討することも重要なゼミ活動です。

教科書・参考文献

ゼミ開講後に随時指示します。

履修しておくことが望ましい科目

とくに無し。

受講希望者への要望

★このゼミナールの選考には、成績は使用しません!!!!

そのかわり、「事前課題」をクリアすることを面接受験の必要条件とします。

【事前課題】

◆福岡空港国際線ターミナルで外国人（3人以上）と英語で会話する動画（1つの動画は3分以上）を撮影して、面接当日に教員に見せてください。

◆英語の実力は評価対象としません。どんなに下手な英語でもいいので、自分1人で国際交流にチャレンジする姿勢を評価します。（したがって、友人などと一緒に場合は無効とします。必ず自分一人で行って、自撮りで動画撮影してくること）

★学外研修を必ず実施するため、ドタキャンは厳禁です。予定されたスケジュールを必ず実施できる学生であることが最低必要条件です。

ホスピタリティ・マネジメントコース

教育方針	観光関連産業が求める <u>観光のプロフェッショナルの育成</u> に力を入れ、観光ビジネスに必要な接客をはじめとする <u>実務能力、マネジメントの知識やスキル</u> が身につく教育を行う。
修得する知識・技能	特に従来の観光教育に多い人文社会学領域やホスピタリティ領域からの視点に加え、サービスマネジメントや組織経営、人的資源管理等、日本の観光教育では少ない経営学を軸とした専門的・学際的な教育を行う。 また、経営に関する理論をインターンシップや企業とのプロジェクト型教育で実践することにより、企業が求める幅広い教養や経験、コミュニケーション力、経営感覚を兼ね備えた人材を育成する。
2年次の 主なコース科目	国内観光研修B 会計学基礎論 サービス産業基礎論 観光経営基礎論 宿泊産業基礎論 旅行業基礎論 観光産業基礎論 航空産業基礎論 観光心理学基礎論 航空キャリア演習 クルーズ産業演習 フードマネジメント

乾ゼミナールⅠ

演習テーマ

観光ビジネスの経営戦略・ホスピタリティ行動に関する研究

担当教員： 乾 弘幸

担当科目： 観光経営基礎論、航空キャリア演習など

演習概要、演習計画

- ゼミナールでは、観光ビジネスが抱える現実的な問題点や課題について研究します。観光ビジネスに関連する産業、企業のサービスやホスピタリティの提供など、戦略的な企業行動・人財の育成に関わる姿勢についての評価をもとに、『大学生らしい視点や発想』で大胆に研究を進めていきます。
- 個人やグループで調査・研究した考察をゼミナールの場でいかに伝え、相互に理解を深めるかということを目的としています。すなわち、「プレゼンテーション能力」の向上を目指します。このスキルは、今後の社会において最も必要な能力であり、将来のための総合的な『人間力』を養成します。この『人間力』とは、社会人としてふさわしい言葉遣いや礼儀、一般常識なども含めて、「発想力」や「表現力」等の豊かさから感じる『一人の人間としての魅力』です。
- 他のゼミとの交流発表会・各種イベントなどに積極的に参加し、多くの価値や成果を示してほしいと願っています。

このゼミを厳しく感じるか、あるいは楽しく感じるかはあなた次第です。頑張った結果として、必ず自分自身にご褒美があると信じて下さい。一人一人が「主役」になってほしいと思います。

ゼミナールでは、『分業による協働から成果を得る』ことを基本にして、各自の役割を果たすようにしてほしいと思っています。これは、研究面だけでなく、ゼミ旅行やコンパなどの多くのゼミナール・イベントも含めて総合的な「活動の場」として積極的であるということを意味しています。このゼミナールで、あなたの大学生活での『価値』を獲得してほしいと心より願っています。

★ とくに、将来の進路として「エアライン(CA・GS・GH)」を目指している学生には、これまでエアライン関連のさまざまなプログラムに取り組み、多くのエアライン従事者を輩出してきたノウハウを用いて『夢を実現する』ための指導・サポートを徹底的に行います。

教科書・参考文献

特に使用しません。それぞれの研究に必要な文献や資料は適宜案内します。

履修しておくことが望ましい科目

ホスピタリティ・マネジメントコースに設置されている「観光経営基礎論」をはじめとする観光関連科目(2年次の基幹科目)

受講希望者への要望

★ 1年次に「ああ～何となく時間だけが過ぎたなあ～」と後悔している、せっかく大学に入学したのだから、意味のある時間を過ごしたいと考えている学生に来てもらいたいと思います。『いまから、ここから』もう一度始めてほしいのです。

Where there is a will, there is a way. (意思あるところに道は開ける)

★ 質問や確認したいこと等があれば気軽に研究室[N819]に来て下さい。

大方ゼミナールⅠ

演習テーマ

観光する人の心理・行動

担当教員： 大方 優子

担当科目： フィールドワーク入門、観光心理学基礎論、観光心理学、観光行動論など

演習概要、演習計画

- ◆ 本ゼミナールでは、観光という事象について、旅行者の心理や行動という視点からグループ研究を行います。また観光のみならず、コミュニケーションや消費活動など、人間行動に関する身近な疑問もテーマとして扱います。一見くだらない、どうでもいいようなことを、「とことん」「真剣に」「面白く」議論し研究するのが本ゼミナールの特徴です。

【これまでの研究テーマ一例】

観光地における
顔ハメ看板の魅力とは？

観光地のトイレ問題



「唐揚げ」から考える
日本人のコミュニケーション

旅行中のケンカはどのよう
にしておこるのか？

旅行先での写真における
男と女の違い

- ◆ 研究成果を学内外で積極的に発表します（予定）。
 - ゼミ内研究発表会
 - 東北アジア観光学会主催 大学生国際発表大会（韓国で開催）
 - 日本観光研究学会主催 大学生論文発表大会（本学で開催）など
- ◆ ゼミ生が自主的にイベントや行事を企画・運営します。
 - ・新ゼミ生歓迎企画、BBQ、ゼミ旅行、運動会、香椎祭、忘年会、卒業パーティなど
- ◆ 以上の活動を通じて、一人一人が何らかの形で成長できることが本ゼミナールの目標です。

教科書・参考文献

適宜指示します。

履修しておくことが望ましい科目

観光心理学基礎論

受講希望者への要望

- ◆ ゼミ活動を通じて何かに真剣に取り組み、人間関係を広げ、大学生活を充実させたいと思っている方を歓迎します。ゼミ活動に対してあまり関心がない人や、ただなんとなく単位がとれば良いという考えの人、友達と一緒にだからという理由での履修はご遠慮ください。
- ◆ 質問などあれば、いつでも気軽に研究室（1号館8階S801）を訪ねてください。

松笠ゼミナールⅠ

演習テーマ ホスピタリティ産業における人材育成

担当教員： 松笠 裕之	担当科目： 宿泊産業基礎論、ホテル経営論、観光人材開発論
-------------	------------------------------

担当教員： 松笠 裕之	担当科目： 宿泊産業基礎論、ホテル経営論、観光人材開発論
-------------	------------------------------

演習概要, 演習計画

「人」は年齢を重ねるだけで成長するわけではありません。様々な知識や経験、思考、行動などを有機的に結合し、学習することで「人」は成長していきます。社会では「企業は人なり」と一般的に言われているように、経営資源である「人」「モノ」「金」「情報」の中でも「人」（人材）は、企業活動の中で最も重要な経営資源です。また、社会活動において「町おこし」などの地域活性化も「人」が中心となって行われます。

本ゼミナールは、人的関与が大きいとされるホスピタリティ産業の特徴を分析し、人的資源管理や組織行動の理論的フレームワークを使って、「人」「組織」の理論と実践の両面から理解を深め、いかに人材を育成するかを考えることがテーマです。

本ゼミナールでは、人材育成のベースとなる能力である論理的思考とコミュニケーション能力を、グループワークを通じて徹底的に鍛錬していきます。

具体的には、礼儀・挨拶などの一般社会で不可欠な基本的マナーに始まり、文章作成能力、論理的思考力、対人コミュニケーション能力からプレゼンテーション能力を段階的に習得していきます。

主な活動として西日本の大学から約100チームがゼミの研究活動をプレゼンテーションする西日本インカレへの参加を目的とします。

また、ゼミナール活動の一環として主要観光地、ホテル、テーマパークなどの見学やコミュニケーション促進のためのゼミ合宿、バースディーパーティー、懇親会、学園祭への出店、他大学ゼミとの交流などもゼミ生が主体となって企画し、実施していく予定です。

教科書・参考文献

教科書:使用しない。 参考文献:適宜紹介します。

教科書:使用しない。 参考文献:適宜紹介します。

履修しておくことが望ましい科目

基礎ゼミナール、コース入門ゼミナール、観光学入門Ⅰ・Ⅱ、経営学入門、データ分析入門
情報リテラシー入門Ⅰ・Ⅱ、マーケティング入門

受講希望者への要望

このゼミナールで何を身につけたいかという明確なビジョンを持っていることが第一です。

本ゼミナールは人材育成が主なテーマであるため、ゼミ生自身が主体的に自己の能力を開発し人間として成長することが求められます。

本ゼミナールのモットーは、「やる時はやる、遊ぶ時は遊ぶ」で、思考と行動を臨機応変に切り替えが出来る人に参加してほしい。組織は、異質な個性の集合体であることが望ましいので、色々な個性を持った人に来てほしいと思っています。

室岡ゼミナール I	
演習テーマ 旅行産業の持続可能な成長・発展と人財スキルに関する研究	
担当教員：室岡 祐司	担当科目：旅行業基礎論、観光産業論、インターンシップ入門、旅行検定講座、クルーズ産業演習など
演習概要 旅行会社は進む IT 社会において成長・発展できるのでしょうか。ゼミでは、国内外のユニークな旅行会社・旅行産業を調べ、衰退が予測される会社（事業）と持続可能な成長・発展が見込める会社（事業）の違いについて議論します。 その上で、これからの旅行産業で求められる人財・スキルを明らかにすることによって、自身の目標や成長について考える機会とします。 さらに、考えるだけでなく、実践が必要です。企業や自治体と連携したプロジェクトの話があれば学生に提案し、取り組みの可否を決めていきます。 研究やプロジェクトの成果は、学外の企画コンテストや年度末のゼミ研究会（学外講師を招待）で発信していきますので、発想力、まとめる力、プレゼン力向上にもつながります。	
演習計画 ➤ 毎回実施（個人発表） 観光産業ニュースのメール配信サービス「トラベルボイス」から、演習テーマに関する記事を担当者が発表、全員で意見交換することにより、知識を増やします。 ➤ 前期（グループワーク） 国内外のユニークな旅行会社についてグループで調べ、発表・議論していきます。 ➤ 後期（グループワーク） 前期からの継続および学外コンテストでの発表、年度末ゼミ研究会に向けて情報収集、調査、提案、発表までの一連の研究に取り組みます。 ➤ プロジェクト対応（希望者グループで対応） 年間通じて、自治体や大手旅行会社が取り組む観光・地域活性化事業の視察や調査、企画コンテスト、モニターツアー参加など、協議の上対応していきます。 ※参考（平成 30 年度のゼミ I 活動） ・ 6 月：大学生まちづくりコンテスト in 長崎説明会参加と上五島調査（2 泊 3 日） ・ 8 月：北九州市企業視察バスツアー（第一交通産業・市観光課等、市からの招待） ・ 9 月：大学生まちづくりコンテスト in 長崎本選出場 ・ 10 月：日本旅行業協会九州支部旅行企画コンテスト本選出場 ・ 11 月：香椎祭ステージイベント企画・実施（K-POP カラオケ・コピーダンス大会） ・ 2 月：ゼミ研究発表会（2 年生は 3 グループ） 発表テーマ：「泊まれる〇〇、目から鱗の宿泊施設」「e スポーツの可能性」「キャッシュレス決済の日中比較」 ・ 2 月：大分県の尖った観光素材調査（ツーリズムおおいとの連携事業、1 泊 2 日） ・ 5、10、2 月にゼミ合同懇親会（学内学食にて）	
教科書・参考文献 適宜指示します。	
履修しておくことが望ましい科目 旅行業基礎論、観光産業論	
受講希望者への要望 旅行が好きな人、将来旅行に関係する仕事に興味がある人、学外のプロジェクトにチャレンジし力をつけたいという意欲がある人を歓迎します。 ※質問などありましたら、気軽に研究室（S802）へ来てください。ゼミ活動の資料も閲覧できます。	

森下ゼミナールⅠ	
演習テーマ おもてなしとサービスのビジネス・マネジメント研究	
担当教員 ：森下 俊一郎	担当科目 ：経営学入門、マーケティング入門、サービス産業基礎論、プロジェクト基礎演習、サービスマネジメント
演習概要 顧客が満足するおもてなし、優れたサービスとは何か、他とは何が違うのか、そうした企業や観光地域はどのようなマネジメントやマーケティングを行っているのか、をテーマに調査・研究を行います。ゼミ活動を通じて、 調査・研究力 や 論述力 などの就活や社会で役立つ実践的な知識を習得します。	
演習計画 前期:調査・研究力 課題の設定や発見、データの収集、具体的な調査・分析、結果のまとめ、発表などの調査・研究の基本をグループで行いながら習得します。こうした企業でも必要とされるスキルを、調査・研究方法の説明→実習→発表→改善・修正、といったプロセスを段階ごとに体験することで身につけます。	
後期:論述力 4年次になると卒業論文が課されますが、いきなり長い論文を書くのは困難です。そのため後期は、小論文の作成を通じて、論文執筆の決まりごとや作成手順などの基本、自分のアイデアを文章にするコツを学びます。希望に応じて、就活やインターンシップのエントリーシートも題材にとりあげます。	
調査・研究、論文のテーマは自由ですが、関心のある業界・企業のマーケティングやマネジメントなど就活に役立つ内容を推奨します。ゼミ活動を通じて、限られた時間の中で他のメンバーと協力して最大限の成果を得る マネジメント力 や コミュニケーション力 、 課題解決力 など企業で働く上で必要となるスキルも身につけることを期待します。	
優れたおもてなしやサービスを学ぶには、実際に体験したり、その関係者の話を聞くことも重要です。そのため、研究課題や希望に応じて、学外での宿泊を伴う現地調査を行うことがあります。	
教科書・参考文献 なし(プリントや資料を配布します)	
履修しておくことが望ましい科目 経営学入門、マーケティング入門	
受講希望者への要望 次のような人がゼミのメンバーに多いのが特徴です。 ・やるべきことは効率的に時間内にきっちりやる、めりはりを大事にしたい。 ・部活・サークル、資格、留学・語学、バイト、就活、教職などと両立したい。 ・調査・研究だけでなく、課外活動やイベントなども、みんなで楽しみたい。 ・大学に入ってやりたいことがあるが、まだ始めていない。あるいは、やりたいことを見つけたい。	
大学に入学して、まだ自分の強みややりたいことを見い出せないままにいる人たちは、ゼミ活動を通じて、今まで気づかなかった得意なこと、好きなことを見つけ、とことん追求し、自分のペースで成長して欲しいです。ゼミには、それぞれの夢や目標に向かってがんばる人をみんなで応援する雰囲気があります。そうした目標を探しながら、積極的にゼミ活動をリードしてくれる人も歓迎します。	